児童書　ちびのミイのおひっこし？

リーナ&サミ・カーラ作（徳間書店）

（三～五歳児向け）

毎晩ちびのミイが部屋で暴れまわるので、ムーミントロールはぐっすり眠れません。家を出て行こうかと思っているムーミントロールに、ミイは「自分で家を建てちゃえばいいのよ！」と言って…。ミイのおはなし絵本。

リバース

湊　かなえ著（講談社）

平凡なサラリーマン、深瀬和久の趣味はコーヒーを飲むこと。その縁で、美穂子という彼女もでき、人生に彩りが添えられると思った。だが、「深瀬和久は人殺しだ」と書かれた告発文が送りつけられ…。

かき氷

伊地知　英信文（岩崎書店）

なぜ、天然氷のかき氷はおいしいのか？真冬の冷たさを真夏までとじこめる貴重な技術の秘密とは？埼玉県長瀞の、明治時代からある天然氷の氷屋さん一家の、氷づくりを追ったフォトドキュメント。

歯の豆辞典

山田　博之著（丸善プラネット）

どうして親知らずは横を向いて生えてくるのか、八重歯が多いのはなぜか、顔の形が昔と違ってきているのはなぜか、出っ歯の起源はいつなのか…。「歯」について知っておきたい知識を、人類学の立場から紹介します。

豊山俳句クラブ

青山克己　選

青き空残して蝶の行方かな　田村多喜子

若葉風雑念しばし忘れをり　坪井昭子

三つめの橋わたりきて立夏かな　杉浦みどり

著我咲ひて少し淋しい私です　高木須磨子

おだやかな春の夕日の中にをる　小塚美枝

築山のつつじ燦々昭和かな　村上ゆり子

つばくらめ会話のつづき忘れけり　石黒貴代子

春岬彼方に空の始まれり　坪井径子

葉桜のトンネル息を弾ませて　杉本衿子

青き踏む友と二人の草の宿　安藤春一

蔓ばらの黄がはじける旗日かな　青山とも子

新じゃがの料理はポテトサラダから　水野眞弓

田水張る一枚ごとに空の青　岡島齋

山桐は天の高さにありてこそ　青山克己

豊山歌壇

水野笑子　選

淡紅の彼岸桜に菜の花と
コントラストよき彼岸のウオーク　中澤芳子

犬連れの人の多さに戸惑ひぬ
散歩コースは川沿ひの道　村上一枝

桜花の咲くを待ちるしころを想ふ
花見座敷ゆ見しことのあり　林たよ

幾度も春を迎ふる桜樹を
美しと思ふわが齢なり　落合さなえ

失敗は老化現象とは思はずに
落ち着き慌てずゆつくりゆかむ　荒川昌枝

道すがら名も知らぬ人菜花見て
花の話しにまた花が咲く　安藤定岳

空を舞ふ桜はなびらこの景を
胸に留めむこの春の幸と　一柳千鶴子

毎年にさくらを詠ふ嬉しさよ
異なる咲きぶりそれも楽しく　井上とよほ

諸手あげ声も出さずに樹下に立つ
サイタサクラの散華を詠めり　木村和子

お互ひに支へられつつ支へつつ
共に歩みぬ夫婦となりて　櫛田真寿美

編集後記

気軽で便利に使える自転車。通勤や通学、買い物といった普段の生活での移動手段であることに加え、宅配便や観光地でのレンタサイクルなど自転車の活用は広がっている。一方で自転車運転者のマナーの低下や自転車事故が問題となり、六月から危険な乗り方をした運転者には安全講習が義務付けられることになった▼危険な運転行為は信号無視を始め十四項目あり、講習を受けないと罰金もある。「右側走行」「一時停止無視」などの安易な違反をしていることはないか。一度ご確認を▼自転車は、楽しく、快適な乗り物でもある。たまには気になるものに目を留めて、自然とまちと歴史を肌で感じながら走ってみてはいかがだろうか▼本町には県営名古屋空港、MRJの最終組立を行う三菱重工業、神明公園、史跡などがある。また、航空展示施設の建設も予定されており、見どころはある▼本町をぐるっと回っても四十分程度である。本格的なサイクリングには物足りないかもしれない。しかし自転車散歩にはちょうどよい距離である▼本町に住んでいる方も本町へお越しになる方も気軽に安全に自転車で景観を楽しむことができる。そんなまちにしたい。